

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 14 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	旭地区 市木まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	川上幾雄、串崎利行、戸津川美二 傍聴：市議 1 人		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・河川災害に対する避難行動計画が必要。 ・各所に危険箇所がある。 ・このまちづくりセンターの場所自体が不安である。立地条件として裏山の崩壊、前側の河川の氾濫が想定される。 ・地区ごとに避難等の対応策はできている。 ・そもそもこの市木地区自体土質的にも地滑りや土砂の流出が起り易い ・防災を検討するにしても、組織的に地域全体では難しい。町内ごとになっている。		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・病院への通院が大変である。薬局の配達サービスを受けている。 ・通院の利便が悪い。陸の孤島であり、ある意味難民である。 ・無人市への農作物野菜の出荷が生きがいとなっている。昔は加工品も出荷していたが、人手がいないのでなくなった。今は野菜のみとなっている。もっと PR をしてほしい。		

	【産業建設委員会】100年先に残したい浜田の食 ・祭り寿司 一合の角寿司 ・川魚、アユ、鰻、ヤマメ、イワナ ・川の現状維持が大切 自然環境の維持が大切 ・無人市の維持するために生産者を維持していきたい。 ・農業者を育てることが必要である。支援補助をお願いする。
自由意見	【総務委員会】 ・デマンドにより生活に沿った利便性の有る交通手段制度をお願いしたい。
	【文教厚生委員会】 ・なし
	【産業建設委員会】 ・民宿の補助をしてほしい。(空き家活用としている。)

令和8年5月20日 戸津川美二